

# ILSI Japan The 7th International Conference on Nutrition and Aging

## ILSI Japan 第7回「栄養とエイジング」国際会議

### 「健康寿命の延伸を目指して」

第7回「栄養とエイジング」国際会議では、「健康寿命の延伸を目指して」を主テーマとし、「和食」の良さ、栄養の最適化、脳・神経機能への影響、腸内細菌研究、身体活動に焦点を当て、アカデミアのみならず産業界からも研究成果報告を行い、議論を深めていきます。

- セッション1：和食（世界無形文化遺産）
- セッション2：先制医療としての栄養の最適化
- セッション3：食事と脳・神経機能
- セッション4：腸内細菌の研究展望
- セッション5：“不活動”の生理学（身体活動と栄養学）

#### 日 程

2015年9月29日（火）30日（水）

#### 場 所

東京大学 弥生講堂・一条ホール

#### 主 催

特定非営利活動法人 国際生命科学研究機構（ILSI Japan）

#### 後 援

農林水産省 国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 国立健康・栄養研究所  
公益社団法人 日本栄養・食糧学会 公益社団法人 日本栄養士会 日本応用老年学会 日本基礎老化学会  
一般社団法人 日本臨床栄養学会 公益社団法人 日本ビタミン学会

#### 〈組織委員会〉

- 委員長： 西山 徹（ILSI JAPAN理事長、（元）味の素株式会社 顧問）  
委員： 木村 修一（ILSI JAPAN会長、東北大学 名誉教授）  
桑田 有（人間総合科学大学大学院 人間総合科学研究科教授）  
福島 昭治（中央労働災害防止協会 日本バイオアッセイ研究センター所長）  
高瀬 光徳（森永乳業株式会社 常務取締役）  
古野 純典（国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 国立健康・栄養研究所 理事兼所長）  
岩元 睦夫（（公社）日本フードスペシャリスト協会 会長）  
坂田 隆（石巻専修大学 学長）  
清水 誠（東京農業大学 教授）  
辻村 英雄（サントリーホールディングス株式会社 専務取締役）  
戸上 貴司（ILSI Japan CHP（健康推進協力センター） 代表）  
松山 旭（キッコーマン株式会社 常務執行役員）  
安川 拓次（花王株式会社 エグゼクティブ・フェロー）  
若林 奏（株式会社ニチレイ 品質保証部マネージャー）  
伊藤 建比古（森永製菓株式会社 取締役）  
辻 智子（日本水産株式会社 研究学術顧問）  
山口 隆司（ILSI Japan事務局長）（敬称略、順不同）  
実行委員：ILSI Japan栄養研究部会、ILSI Japan事務局

参加お申込み等、詳細につきましては、下記ウェブサイトをご覧ください。  
ポスターセッション、企業展示も同時に募集しております。

<http://www.ilsijapan.org/>

特定非営利活動法人  
国際生命科学研究機構（ILSI Japan）

〒102-0083  
東京都千代田区麹町 3-5-19 にしかわビル 5 階  
TEL 03-5215-3535  
FAX 03-5215-3537  
<http://www.ilsijapan.org/>



#### ◆国際会議のねらい

International Life Sciences Institute, ILSI は、1978 年にアメリカで設立された非営利の団体です。科学的な視点で、健康・栄養・安全性・環境に関わる問題の解決および正しい理解を目指すとともに、今後発生する恐れのある問題を事前に予測して対応していくなど、活発な活動を行っています。

ILSI Japan は、ILSI の日本支部として 1981 年に設立され、その 10 周年記念として、1991 年に第 1 回「栄養とエイジング」国際会議を開催し、以降 4 年に一度、既に 6 回に亘り同国際会議を開催して、国際的評価を得ています。

1950 年代には主要先進国中、最低だった日本の平均寿命が、1970 年代～80 年代には総て抜き去り、世界一に躍り出ました。その後、わが国では、超高齢化が加速度的に進み、平均寿命が男女ともに 80 歳を超えています。厚生労働省が平成 24 年に公表した「国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基本的な方針」に「健康寿命の延伸と健康格差の縮小」が提案されています。健康な状態での長寿であるためには、医学、特に予防医学の進歩に基盤を置いて、その恩恵を受けたうえで日頃から適切な食事と適切な身体活動を心がけることによって肉体的、精神的な健康を維持することが不可欠です。

食事や栄養の役割はライフステージごとに異なるため、最適な栄養状態を一義的に決めることは難しいと言えます。高齢期に高い ADL（日常生活動作）を維持しながら過ごすためには、そこに至る過程において、とりわけメタボリックシンドロームの予防を意識した先制的な管理が重要であります。その予防的管理を具体的な行動に移す推進力を得るために、食事や活動と肉体的、精神的な健康との関連性について最新の情報や考え方を知る必要があります。

したがって、今回の第 7 回「栄養とエイジング」国際会議では、「健康寿命の延伸を目指して」を主テーマとし、「和食」の良さ、栄養の最適化、脳・神経機能への影響、腸内細菌研究、身体活動に焦点を当て、アカデミアのみならず産業界からも研究成果報告を行い、議論を深めていくこととなります。

本知見が、今後、食品・医薬品業界に高齢化社会を見据えた食品やフードサービスの開発にヒントを提供できるものと信じています。

#### ◆国際会議の内容

本国際会議では、5 つのセッションを設けています。各セッションに企業からの発表も加え、応用分野での成果についても紹介し、活発な議論を推進していきます（プログラム詳細は裏面）。

##### セッション1：和食（世界無形文化遺産）

和食がユネスコ無形文化遺産に登録され、健康を維持、増進する食として一層グローバルに注目されてきました。和食を日本の食文化とともに健康長寿との関連性について正しく理解する一助とします。

##### セッション2：先制医療としての栄養の最適化

近年では、私たちの健康には、その時々々の食事や栄養の内容ばかりでなく、胎児期あるいは小児期の内容がエピジェネティックな変化を介してその後の一生涯を通じて影響すると理解されています。最適な栄養状態を考えるための最新の情報提供を行います。

##### セッション3：食事と脳・神経機能

日常の食事の嗜好や内容、さらには食べ方と脳・神経・精神との関わりを示す最新の情報を整理し、豊かな心に支えられた ADL を送るために心がけるべき食生活の在り方を議論します。

##### セッション4：腸内細菌の研究展望

食事や心理・精神環境が腸内の細菌叢に影響を与えることはよく経験され、知られています。そこで、ヒトマイクロバイオーームと呼ばれる、ヒト常在菌の菌叢解析と疾患との関連を扱う研究分野の最新の世界に触れ、健康寿命と腸内細菌との関わりに関する新たな展望をうかがいます。

##### セッション5：“不活動”の生理学（身体活動と栄養学）

運動不足や過度の栄養摂取による肥満や内臓脂肪の蓄積は、炎症や酸化ストレス反応などを介してロコモや生活習慣病、さらには認知機能低下を引き起こすと考えられています。不活動、不活動に起因する筋肉の量的、質的低下、ならびに認知機能への影響と対策に関する最新の情報を提供します。

#### ◆用語

日本語、英語（同時通訳付）

#### ◆参加登録費概要

	参加登録費	事前登録*
会員（一般）	25,000 円	20,000 円
会員（65 歳以上）	10,000 円	7,000 円
会員（35 歳以下）	10,000 円	7,000 円
非会員	30,000 円	25,000 円
学 生	5,000 円	
レセプション	5,000 円	

\* 事前登録は 7/31 迄

#### ◆ポスターセッションならびに企業展示

同時にポスターセッション、企業展示も開催し、特に若い研究者の発表の場とすることにより、継続的な研究、関心につなげる機会としていきます。

#### ポスターセッション参加登録料（設備利用料として）

一律 5,000 円

#### 企業展示登録料（設備利用料として）

一律 10,000 円

\* 本サーキュラーが必要な方、またポスターセッション発表ご希望の方は、e-mail ([aging@ilsijapan.org](mailto:aging@ilsijapan.org)) にてお申し込み下さい。なお、ウェブサイトにて開催案内を掲載しておりますので、そちらも閲覧下さい。

ILSI Japan ウェブサイト：

<http://www.ilsijapan.org/>

# 第7回「栄養とエイジング」国際会議プログラム

～健康寿命の延伸を目指して～

2015年9月29日～30日 東京大学 弥生講堂 一条ホール

## 9月29日(火)

08:30- 受付・登録

09:00-09:10 開会の挨拶 西山 徹 (ILSI Japan)

### 健康寿命の延伸にむけて

◆座長：木村 修一 (ILSI Japan)  
09:10-10:00 【美味しさの科学：高齢者の食嗜好について】 伏木 亨 (龍谷大学)

### セッション1: 和食 (世界無形文化遺産)

◆座長：岩元 睦夫 ((公社)日本フードスペシャリスト協会)  
小林 修平 (NPO法人日本食育協会)

10:00-10:40 【現代の日本食は「和食」か】  
大谷 敏郎 (国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 食品総合研究所)

10:40-10:50 休憩

10:50-11:30 【日本の特徴的な食事と疾病：多目的コホート研究からのエビデンス】  
津金 昌一郎 (国立研究開発法人 国立がん研究センター)

11:30-12:10 【疫学研究から見た日本食と循環器疾患】 三浦 克之 (滋賀医科大学)

12:10-13:40 昼食&ポスターセッション

### セッション2: 先制医療としての栄養の最適化

◆座長：柴田 克己 (滋賀県立大学)  
永田 知里 (岐阜大学大学院)

13:40-14:20 【糖脂質代謝のエピゲノム制御と先制医療】 小川 佳宏 (東京医科歯科大学大学院)

14:20-15:00 【肥満・メタボリックシンドローム予防のための人生早期の栄養状態】  
岡田 知雄 (日本大学)

15:00-15:20 【食事や味刺激がもたらす大脳皮質の変化】 川上 晋平 (森永製菓株式会社)

15:20-15:30 休憩

15:30-16:10 【機能性食品とエピジェネティクス】  
阿部 啓子 (東京大学大学院)

16:10-16:50 【健康社会構築のための栄養の効果：ポピュレーション・サイエンスの重要性と課題】  
佐々木 敏 (東京大学大学院)

16:50-17:10 【ポリフェノールがエネルギー代謝に与える影響】 日比 壮信 (花王株式会社)

17:30-19:30 レセプション【弥生講堂アネックス】

## 9月30日(水)

08:30- 受付・登録

### セッション3: 食事と脳・神経機能

◆座長：溝上 哲也 (国立研究開発法人国立国際医療研究センター)

09:00-09:40 【老齢脳における栄養：最適な食事に関する科学的根拠を得るために  
—ILSI Europe の活動概況】 Diána Bánáti (ILSI Europe)

09:40-10:20 【食事パターンと認知症の関係：久山町研究】  
二宮 利治 (九州大学大学院医学研究院附属総合コホートセンター)

10:20-11:00 【食による体内時計の制御を目指した時間栄養学研究】  
大石 勝隆 (国立研究開発法人 産業技術総合研究所)

11:00-11:10 休憩

### セッション4: 腸内細菌の研究展望

◆座長：坂田 隆 (石巻専修大学学長)

11:10-11:50 【ヒト腸内細菌叢のメタゲノミクス-日本人の特徴-】  
服部 正平 (早稲田大学大学院)

11:50-12:30 【共生体として腸内細菌】 Philip M. Sherman (Canadian Institutes of Health Research)

12:30-14:00 昼食&ポスターセッション

◆座長：清水 誠 (東京農業大学)

#### 【企業における腸内細菌研究】

14:00-14:20 【セグメント細菌の腸免疫システムにおける重要性と腸炎モデルへの応用】  
梅崎 良則 (株式会社ヤクルト本社)

14:20-14:40 【加齢に伴う腸内細菌叢の変化～0歳から100歳以上まで～】  
小田 巻 俊孝 (森永乳業株式会社)

14:40-15:00 【ヨーグルトが腸内環境および生体機能に及ぼす影響】 木村 勝紀 (株式会社明治)

15:00-15:20 【Lactobacillus gasseri SBT2055 の経口投与による生体防御機能の強化】  
酒井 史彦 (雪印メグミルク株式会社)

15:20-15:30 総合討論

15:30-15:40 休憩

### セッション5: “不活動”の生理学 (身体活動と栄養学)

◆座長：桑田 有 (人間総合科学大学大学院)

小林 久峰 (味の素株式会社)

15:40-16:20 【筋萎縮を予防・治療できる新規機能性食材の開発】 二川 健 (徳島大学)

16:20-17:00 【老化筋肉における身体活動と栄養センシングならびにシグナルの制御】  
Blake B. Rasmussen (Univ. of Texas Medical Branch)

17:00-17:20 【サルコペニアに対するアミノ酸栄養の重要性】 小林 久峰 (味の素株式会社)

17:20-18:00 【健康のために10分多く体を動かそう：用量反応分析に基づいた日本の新しい身体活動ガイドライン】  
宮地 元彦 (国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 国立健康・栄養研究所)

18:00-18:10 閉会の挨拶 古野 純典 (国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 国立健康・栄養研究所)